



## 秋の行動 みんなで参加し頑張ろう 各大会にじん肺キャラバン

まだまだ暑い日は続いていますが、もう秋の予定や計画が次々として入ってきています。

8月26~28日には、中央本部第25回定期大会が群馬県磯部温泉において開催され、9月10日は、愛知県本部第25回定期大会、20~21日は北信越労職合同支部第20回定期大会が行われます。分会の定期大会は、毎年11月下旬に行っていて、今年は11月27日（月曜日）に予定しています。

2016年キャラバンタ方宣伝



また、秋の一大イベントと言え、『なくせじん肺全国キャラバン』です。毎年10月1日からスタートする『労働安全衛生週間』に合わせて行われますが、今年は34回を迎えます。

10月4~6日の3日間、今年は全国一斉ではありませんが、職業病電話相談をする予定です。みなさんの中で手伝って下さる方があれば大歓迎です。事務所まで連絡をお願いします。

10月13日は国交省中部地方整備局・愛知県・愛知労働局の要請を行い、19日は静岡労働局と静岡県への要請を行います。

23~24日は、全国各地で行動を終えた仲間たちが東京に集まり、1日目に集結集会を開催。各地の取り組みの報告がなされます。2日目には、期間中に集めた署名をデモ行進しながら、国会議員に手渡し、今年のキャラバンは終了します。

毎年のことですが、国会請願署名を送りますので、10月10日までに投函してください。9月26日には根絶闘争本部の総会が行われます。

## この悲劇を決して繰り返してはならない 終戦から78年平和への思い

今年は、日本がアジア・太平洋戦争に敗北して78年です。この戦争で2000万人以上のアジアの人々と、310万人の日本人が犠牲となりました。

分会のみなさんは、殆どの方が戦争体験者で、戦争体験記として、この分会ニュースに掲載させていただきました。

名古屋空襲の時、瀬戸から真っ赤に燃える名古屋の街を眺めていた人や、空襲警報が鳴り響く中、兄に負われて逃げまわった人。中でも原爆が投下された日に、広島にいて被爆した人など。



78年前の8月6日と9日、アメリカ軍が広島と長崎に投下した原子爆弾は、瞬時にして両都市を破壊し、人類が体験したことのない惨状をもたらしました。『核兵器はいかなる状況でも、決して使用してはならない。一日も早く完全に廃絶すべき。この悲劇を決してくり返してはならない』というのが、戦争体験者・被爆者を始め多くの人々の願いです。

しかし世界には今なお約1万2500発の核兵器が存在していて核保有国の責任も重大です。

2021年1月22日人類史上初めて、核兵器を違法なものとする核兵器禁止条約（核兵器の製造・保有・使用・威嚇などを禁じている）が発効されました。核大国が核軍縮に背を向ける中でも、世界は核兵器禁止条約を力に確実に『核兵器廃絶』の声は広がっています。現在、この条約には68カ国が批准し、署名国は92カ国と国連加盟国の半数に迫っていますが、世界唯一の被爆国、日本はまだ批准していません。

建交労も今年は、全国青年部の反核トラックキャラバンが3年ぶりに行われました。7月30日名古屋駅西口で反核宣伝が行われ、みなさんから届いた千羽鶴3千羽を託しました。

県本部では、2006年から隔月の日曜日、金山駅南口広場において平和宣伝を行ってきましたが、この8月で94回となりました。

夏はやっぱり花火



静岡市で7月22日(土)第70回安倍川花火大会が開催されました。例年約35万人が訪れる夏の風物詩。安部川に約1万5000発の花火が上がりましたが、特に大型スターマインの迫力には圧倒されました。さらに注目を集めたのが東京ディズニーリゾート開業40周年記念のドローンショーでした。約700機のドローンによりディズニーキャラクターが夜空に描かれました。 船越俊子

思い出の写真 (2021年7月)



一昨年、執行委員会で集まった千羽鶴を手に、みんなで記念写真をパチリ!

9月の予定

- 5日 県本部 第258回執行委員会
- 6~7日 北信越専従学習会 入善
- 10日 愛知県本部 第25回定期大会
- 21~22日 北信越第20回定期大会
- 26日 根絶闘争本部総会

ご案内

※ 分会第4回会議 8月21日(月)は延期となり10月に予定しています。

電力・ガス・食料品等止まらない物価の高騰  
不安と苦悩 どうする生活?

最近「ガソリンの値段が上がってびっくりした」という声がよく聞かれます。経済産業省が発表したレギュラーガソリンは10181円、2008年8月以来、15年ぶりの高値となっています。全国最高値は長野県の190円です。

円安や原材料価格の高騰で、食品や飲料の値上げも相次いでいます。

スーパーで買い物のときにも、「高くなったな」と感じて商品をとる手が止まるのも度々です。

家庭からも食品メーカーからも、不安の声が上がっています。

昨年11月には800品目以上が値上げされました。値上げをしてもコストの高騰に追いつかず、作り手側も苦しいというこの状況。止まらない物価高に私たちはどう向き合えばいいのでしょうか?



日本政府は令和4年には、電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金(低所得世帯に5万円)の支給を行いました。申請しないと給付されないもの。

この先は追加の経済対策を策定する意向だそうですが、消費税を下げるなど早急に対策をとらないと国民は大変です!

国民が安心して暮らせるようにするのは政治の責任です。

2つのお願い

- ① 国会請願署名の協力をお願いします。
- ② あなたもLine登録をお願いします。

